

【平成24年度今治港テロ対策合同訓練の実施状況】

国際船舶・港湾保安法に基づく総合訓練について下記のとおり実施した。

総合訓練の実施に当たっては、今治港危機管理コアメンバー、今治港港湾保安委員会、及び今治港等港湾保安対策協議会と連携し想定シナリオのもと実施した。

1. 日時：平成24年10月24日(水)14:00～15:30
2. 場所：愛媛県今治市富田新港1丁目、富田埠頭岸壁及び同岸壁地先海域
3. 主催：今治港港湾危機管理コアメンバー・今治港港湾保安委員会・今治港等港湾保安対策協議会
4. 参加機関：今治海上保安部(危機管理担当官)、愛媛県今治警察署(危機管理副担当官)、神戸税関今治税関支署、高松入国管理局松山出張所、四国運輸局愛媛運輸支局、今治海事事務所、四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所、来島海峡海上交通センター、今治港運協会、今治港曳船協議会、今治市消防本部、太陽石油(株)四国事業所、波方ターミナル(株)、全日本海員組合愛媛支部
(以上今治港港湾危機管理コアメンバー・今治港港湾保安委員会メンバー・今治港等港湾保安対策協議会メンバー)
5. 訓練内容
(1)目的：今治港におけるテロ対策合同訓練を実施することによって、関係機関の連携、対応を確認し、各機関の連携をより一層推進するとともに、事案発生時の対処能力の向上を図ることを目的とする。
(2)想定：今治港危機管理担当官(今治海上保安部長)は、入国管理局から「外国貨物船に乗船した国際テロリストが今治港沖合で武器携行のうえ小型船に移乗し上陸する」とのテロ情報を入手、今治海上保安部経て今治港危機管理コアメンバー等に情報伝達され、同コアメンバー及び関係機関は緊急参集する。
(3)内容：関係機関への情報伝達、関係機関の招集、監視体制を強化、港湾区域及び施設閉鎖・警戒、不審船の追跡・規制、不審物検査、テロリストの逃走措置・逮捕
6. 参加人員等
参加機関14機関約100名、巡視艇等4隻、検査車両1台、パトカー等車両2台

7. 訓練風景



【訓練開始挨拶：危機管理担当官】
・危機管理担当官の開会挨拶。



【訓練指揮所】
・各コアメンバー参集状況。



【海上警備訓練】
・巡視艇が今治港を警戒する。



【港湾区域及び施設閉鎖、警戒訓練】
・港湾管理者による富田埠頭ゲートの閉鎖。



【不審船の追跡、規制等訓練】
 ・今治港富田埠頭岸壁沖合を警戒中の巡視艇が、情報のあった不審船を発見、不審船の追跡を実施。



【不審船の追跡、規制等訓練】
 ・巡視艇にむけテロリスト2名が発砲。



【不審船の追跡、規制等訓練】
 ・テロリスト2名は外国貨物船船尾甲板に乗船し、手を上げて投降する。



【不審物検査訓練】
 ・今治税関支所は、外国貨物船乗員の手荷物をX線装置で検査。



【テロリストの逃走阻止、逮捕訓練】
 ・携帯する手荷物を税関X線検査される前に外国貨物船内いたテロリスト1名が岸壁上を逃走する。



【テロリストの逃走阻止、逮捕訓練】
 ・上陸したテロリストを今治警察署員が逃走阻止し逮捕。



【終了式】
・今治警察署長(危機管理副担当官)による講評及び
終了挨拶。



【終了式】